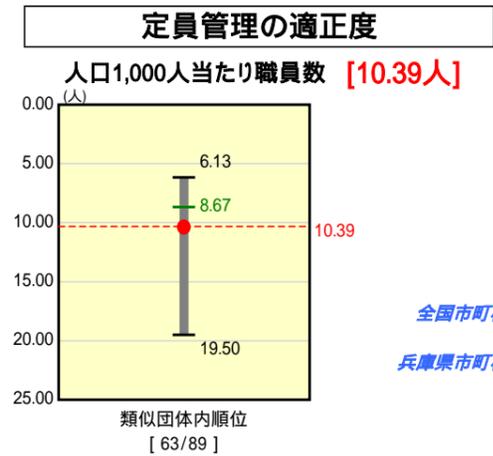
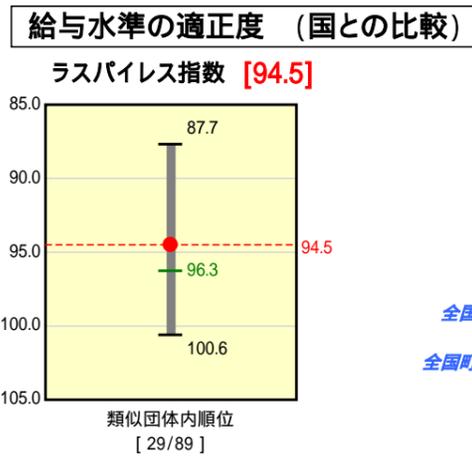
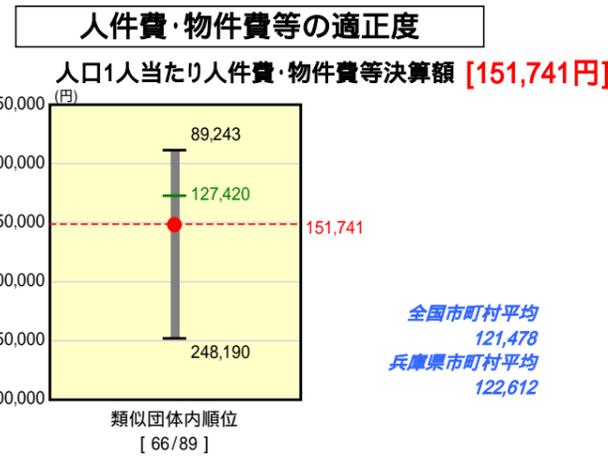
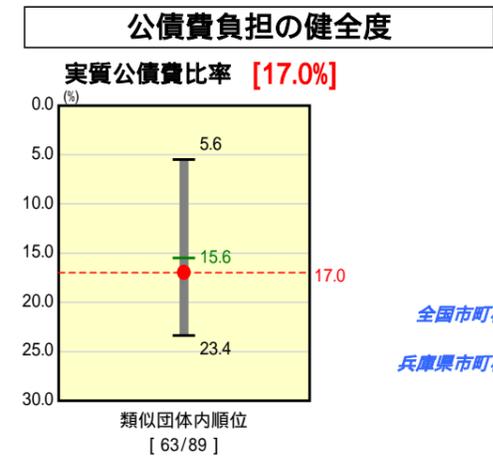
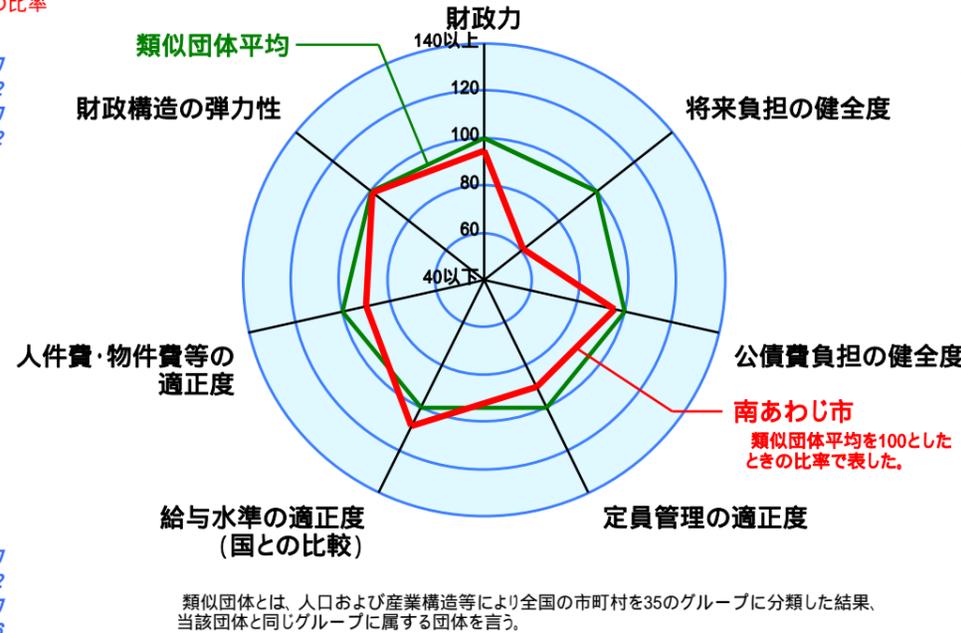
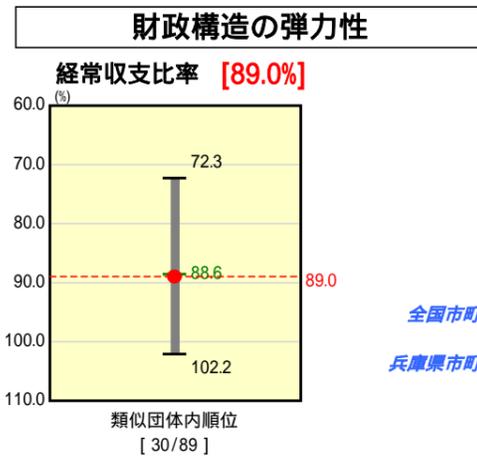
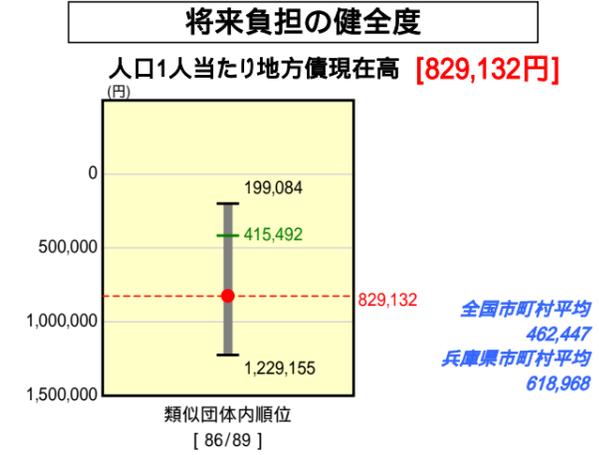
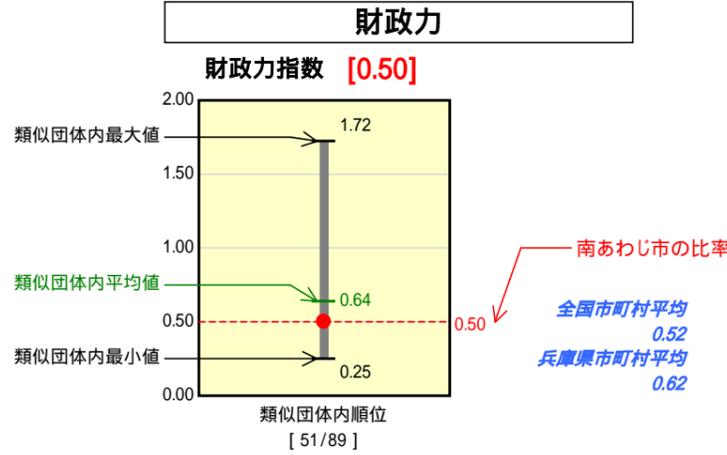


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

兵庫県 南あわじ市

人口	54,020	人(H18.3.31現在)
面積	229.17	km ²
歳入総額	30,123,013	千円
歳出総額	28,865,568	千円
実質収支	1,060,093	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数: 類似団体内平均との比較のみならず、全国市町村平均でも指数は下回っている。今後、第1次産業をはじめとする市内における中心産業の景気動向が不安定であることから、「集中改革プラン」に基づき、職員数の削減、補助金等の整理統合、投資的経費の削減、内部管理経費見直し等で歳出の削減を図るとともに、税等の徴収率の向上対策等により歳入確保に努めるなど、引き続き財政健全化に取り組む。

経常収支比率: 扶助費、公債費の伸びによりわずかではあるが類似団体内平均より良くない比率である。ただし、定員の適正化や諸手当の見直しなどの行財政改革の取り組み、又、合併効果による経常経費の削減に努めていることから、前年度の92.2%から幾分か改善が見られた。今後も引き続き「集中改革プラン」に基づく義務的経費の削減に取り組み、特に、起債の抑制や繰上償還による公債費の軽減に努める。

人口1人当たり人件・物件費等決算額: 「集中改革プラン」にそって経常経費の削減に努めているものの、合併後間もないことから職員数や施設数が類似団体に比べて多いものと思われる。今後、集中改革プラン及び定員適正化計画に基づく職員数の削減及び庁舎等公共施設のあり方を見直しなどにより一層の経常経費の削減に取り組む。

ラスパイレス指数: 従来から、給料表の見直しや管理職手当など諸手当の見直し、58歳昇級停止などに取り組んでおり、類似団体内平均との比較のみならず、全国市平均でも指数は低い値を示している。今後も、定員管理とあわせ人件費の適正管理に努める。

人口1,000人当たり職員数: 合併後間もないことから、類似団体平均より職員数は多くなっている。集中改革プラン及び定員適正化計画に基づき、新規採用の抑制、45歳以上の職員に対する退職勧奨制度の実施、民間委託の推進により、平成21年度に職員数を620人(平成16年度比で6.2%、41人減)とする。

実質公債費比率: 下水道事業などの過去の大型事業に係る地方債の元利償還金により公債費が年々増加傾向にあり、類似団体内平均より悪い比率となっている。今後、起債依存型の事業実施を見直すとともに、起債の抑制や繰上償還による公債費の適正管理に努める。

人口一人当たり地方債現在高: 合併前から生活基盤整備のために多くの地方債を発行してきたことから類似団体内平均より多くなっている。後世への負担軽減のため起債の抑制や繰上償還により財政健全化に努める。